

2023年4月20日

各位

東京都港区南青山三丁目11番13号  
株式会社 TOKYO BASE  
代表取締役 谷 正人  
(コード番号: 3415 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 CFO 中水 英紀  
電話番号 03-6712-6842

(訂正・数値データ訂正)「2023年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正に関するお知らせ

当社は、2023年3月15日に開示いたしました「2023年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正がありますので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 訂正の理由

「2023年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、連結キャッシュ・フロー計算書の当連結会計年度の表示内容に一部誤りがあることが判明したため、関連する箇所の訂正を行うものです。

2. 訂正の内容(訂正箇所は下線部)

また、添付資料12ページにおいて、科目名に下線した科目は表示順を変更しております。なお、下線した科目は数値にも下線をしておりますが、数値の訂正はございません。

<サマリー情報>

1. 2023年1月期の連結業績(2022年2月1日~2023年1月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年1月期	<u>21</u>	<u>△551</u>	<u>△139</u>	2,504
2022年1月期	883	△1,592	1,222	3,145

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年1月期	<u>64</u>	<u>△730</u>	<u>△3</u>	2,504
2022年1月期	883	△1,592	1,222	3,145

<添付資料 4 ページ及び5 ページ>

1. 経営成績等の概況

(訂正前)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から640,628千円減少し、2,504,646千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は 21,074 千円となりました。(前年同期比 97.6%減)

収入の主な内訳は、減価償却費 1,138,650 千円、減損損失 262,631 千円、店舗解約損 211,889 千円、支出の主な内訳は、税金等調整前当期純利益 209,257 千円、売上債権の増加額 180,108 千円、棚卸資産の増加額 503,211 千円、仕入債務の減少額 207,673 千円、法人税等の支払額 448,952 千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は 551,622 千円となりました。(同 65.4%減) 支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出 576,265 千円、差入保証金の差入れによる支出 95,783 千円、資産除去債務の履行による支出 47,438 千円であり、収入の主な内訳は差入保証金の回収による収入 186,964 千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は 139,759 千円となりました。(同 111.4%減)

収入の主な内訳は、短期借入れによる収入 1,100,000 千円、長期借入れによる収入 800,000 千円、一方で長期借入金の返済による支出 1,235,934 千円、リース債務の返済による支出 804,324 千円あります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 2月期	2020年 2月期	2021年 2月期	2022年 1月期	2023年 1月期
自己資本比率 (%)	59.0	55.4	42.5	51.1	47.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	501.0	168.9	401.9	178.8	164.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	2.0	1.8	15.9	2.2	<u>173.1</u>
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	333.8	592.6	50.6	22.4	<u>0.4</u>

(訂正後)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から640,628千円減少し、2,504,646千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は 64,414 千円となりました。(前年同期比 92.7%減)

収入の主な内訳は、減価償却費 1,138,650 千円、減損損失 262,631 千円、店舗解約損失 211,889 千円、支出の主な内訳は、税金等調整前当期純損失 209,257 千円、売上債権の増加額 180,108 千円、棚卸資産の増加額 503,211 千円、仕入債務の減少額 207,673 千円、法人税等の支払額 448,952 千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は 730,895 千円となりました。(同 54.1%減)

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出 761,632 千円、差入保証金の差入れによる支出 96,620 千円、資産除去債務の履行による支出 47,574 千円であり、収入の主な内訳は差入保証金の回収による収入 194,032 千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は 3,825 千円となりました。(同 100.3%減)

収入の主な内訳は、短期借入れによる収入 1,100,000 千円、長期借入れによる収入 800,000 千円、一方で長期借入金の返済による支出 1,235,934 千円、リース債務の返済による支出 668,390 千円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 2月期	2020年 2月期	2021年 2月期	2022年 1月期	2023年 1月期
自己資本比率 (%)	59.0	55.4	42.5	51.1	47.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	501.0	168.9	401.9	178.8	164.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	2.0	1.8	15.9	2.2	<u>56.5</u>
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	333.8	592.6	50.6	22.4	<u>1.2</u>

<添付資料 12 ページ>

(訂正前)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年1月31日)	当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	1,077,304	△209,257
減価償却費	739,820	1,138,650
ソフトウェア償却費	22,319	28,013
減損損失	99,352	262,631
臨時休業等による損失	5,724	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,741	13,648
店舗解約損失	—	211,889
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△13,171	△95,249
契約負債の増加額 (△は減少)	—	87,385
受取利息及び受取配当金	△843	△91
支払利息	39,501	55,629
固定資産受贈益	△68,935	—
雇用調整助成金	△43,716	—
補助金収入	△19,662	—
新株予約権戻入益	△240	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△243,537	△180,108
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△448,000	△503,211
仕入債務の増減額 (△は減少)	△216,056	△207,673
未払費用の増減額 (△は減少)	53,487	△25,565
その他	△191,494	55,068
小計	802,592	631,757
利息及び配当金の受取額	843	91
利息の支払額	△39,482	△55,601
雇用調整助成金の受取額	43,716	—
補助金の受取額	19,662	—
店舗解約に伴う違約金の支払額	—	△106,221
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	56,568	△448,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	883,901	21,074
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△968,704	△576,265
ソフトウェアの取得による支出	△38,864	△16,302
資産除去債務の履行による支出	△21,186	△47,438

差入保証金の差入による支出	△584,827	△95,783
差入保証金の回収による収入	36,254	186,964
その他	△15,486	△2,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,592,814	△551,622
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	－	1,100,000
長期借入れによる収入	1,000,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,251,550	△1,235,934
リース債務の返済による支出	△437,949	△804,324
株式の発行による収入	306,042	－
新株予約権の発行による収入	7,545	500
自己株式の処分による収入	1,598,319	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,222,406	△139,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,070	29,678
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	539,564	△640,628
現金及び現金同等物の期首残高	2,605,711	3,145,275
現金及び現金同等物の期末残高	3,145,275	2,504,646

(訂正後)

	前連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年1月31日)	当連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	1,077,304	△209,257
減価償却費	739,820	1,138,650
ソフトウェア償却費	22,319	28,013
減損損失	99,352	262,631
店舗解約損失	—	211,889
臨時休業等による損失	5,724	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,741	13,648
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△13,171	△95,249
契約負債の増加額 (△は減少)	—	87,385
受取利息及び受取配当金	△843	△91
支払利息	39,501	55,629
固定資産受贈益	△68,935	—
雇用調整助成金	△43,716	—
補助金収入	△19,662	—
新株予約権戻入益	△240	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△243,537	△180,108
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△448,000	△503,211
仕入債務の増減額 (△は減少)	△216,056	△207,673
未払費用の増減額 (△は減少)	53,487	△25,565
その他	△191,494	55,412
小計	802,592	632,102
利息及び配当金の受取額	843	91
利息の支払額	△39,482	△55,601
雇用調整助成金の受取額	43,716	—
補助金の受取額	19,662	—
店舗解約に伴う違約金の支払額	—	△63,226
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	56,568	△448,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	883,901	64,414
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△968,704	△761,632
ソフトウェアの取得による支出	△38,864	△16,302
資産除去債務の履行による支出	△21,186	△47,574
差入保証金の差入による支出	△584,827	△96,620

差入保証金の回収による収入	36,254	<u>194,032</u>
その他	△15,486	△2,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,592,814</u>	<u>△730,895</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	－	1,100,000
長期借入れによる収入	1,000,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,251,550	△1,235,934
リース債務の返済による支出	△437,949	<u>△668,390</u>
株式の発行による収入	306,042	－
新株予約権の発行による収入	7,545	500
自己株式の処分による収入	1,598,319	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,222,406</u>	<u>△3,825</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,070	29,678
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	539,564	△640,628
現金及び現金同等物の期首残高	2,605,711	3,145,275
現金及び現金同等物の期末残高	<u>3,145,275</u>	<u>2,504,646</u>

以 上